

製品のポイント

- ・抗酸化カロテノイド「アスタキサンチン」を高用量(100mg/1回)で配合
- ・抗酸化ユビキノ「コエンザイムQ10」を高用量(1,500mg/1回)で配合
- ・抗酸化ビタミン「ビタミンC」「ビタミンE」「ビタミンB」が主要成分をサポート

成分(1回20g中)

- ・アスタキサンチン (Astaxanthine) : 100mg
- ・コエンザイムQ10 (Coenzyme Q10) : 1,500mg
- ・ビタミンC (Vitamin C) : 3,000mg
- ・ビタミンE (Vitamin E) : 300mg
- ・ビタミンB1,2,3,5,6 (Vitamin B1,2,3,5,6) : 各100mg
- ・ビタミンB12 (Vitamin B12) : 0.1mg
- ・クエン酸 (Citric Acid) : 1,800mg

■ アスタキサンチン (Astaxanthine)

自然界に広く分布している植物由来のカロテノイド。強い抗酸化作用を発揮し、特に過酸化脂質と一重項酸素という活性酸素に優れた活性を示します。これまでの研究では、筋肉疲労の軽減・回復、筋持久力の向上、乳酸発生抑制、中枢性(精神的)疲労の軽減、免疫力の向上などが報告されています。競走馬での研究では「すくみ」に対する効果が、畜産分野での研究では発情誘起効果、受精胚の品質向上、ヒートストレス緩和などが報告されています。

■ コエンザイムQ10 (Coenzyme Q10)

細胞のミトコンドリアが、細胞のエネルギー源であるATP(アデノシン三リン酸)を作り出すために必要な補酵素で、細胞や組織の生命活動には欠かせない成分です。特に運動によってATP産生が活発になるとコエンザイムQ10の供給が間に合わなくなるため、補給する必要があります。

また、強力な抗酸化作用があり、ミトコンドリア内で活性酸素をブロックすることで、運動時においては抗疲労効果が報告されています。

また、血液の流れや細胞の活性化を促し、新陳代謝を高め、免疫力の向上にも効果があると言われています。

脂溶性のため脂質の多いものと同時に摂取すると吸収率が上がり、ビタミンC、ビタミンEと同時に摂取することでより抗酸化作用の効果が高まると言われています。

■ ビタミンC (Vitamin C)

代表的な抗酸化ビタミンの一つで、特にヒドロキシルラジカルに対して優れた活性を示します。ビタミンEと連携(酸化されて効力を失ったビタミンEをもとの形に戻す、コエンザイムQ10にもこの作用がある)して働くことも認められています。

■ ビタミンE (Vitamin E)

代表的な抗酸化ビタミンの一つで、特に脂質ペルオキシラジカルに対して優れた活性を示します。体内では細胞膜に局在し、活性酸素による酸化障害から細胞を守り、過酸化脂質の産生を防ぐことが報告されています。

■ ビタミンB群 (Vitamin B)

ビタミンB群はお互いに協力関係を持ちながら様々な物質の代謝に関わる補酵素の働きがあります。

主にビタミンB1は糖質をエネルギーに変える働きがあり、B2とB3は三大栄養素の代謝を促進させてエネルギーの産生を行う働きがあり、B5は様々な代謝に広く関わり、B6はタンパク質の分解や合成を行う働きがあり、B12には赤血球を生成する働きがあります。これらB群の働きにより、筋肉疲労の回復や軽減、生体免疫力を向上させる効果が期待できます。

■ クエン酸 (Citric Acid)

有機酸の一種で、疲労回復や筋肉痛軽減に効果があると言われています。

細胞内で栄養分をエネルギーに変える代謝経路であるTCA回路のキープレーヤーとして重要な働きをします。

また、ミネラルの吸収を促進し肝機能の改善にも効果があると言われています。

■ 使用方法:

1歳馬~成馬:1日20gを目安に、症状や運動強度をみながら適宜増減してください。

当歳馬:1日10gを目安に、症状や運動強度をみながら適宜増減してください。